

石川県ふれあい昆虫館の平成18年度管理状況

施設所管課	観光交流局交流政策課
指定管理者	財団法人石川県民ふれあい公社 理事長 栗原 正一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月職員会議を開催し、イベント等の情報共有や展示内容の確認などを行うとともに、運営上の問題も検討している。 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報コーナーに感想ノートを設置し、来館者の苦情や意見の把握や対応に努めている。 こん虫夏まつり2006に関するアンケート、昆虫標本展示に関するアンケートを実施し、イベントや展示の見直しの参考としている。 HP上に、お問い合わせアドレスを掲載、運営に関する意見・質問を受け付け業務に反映している。 <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者・高齢者に対し、車椅子の無料貸出 新たな発想で飼育、展示を行うことを目的に他園館(いしかわ動物園・のとじま水族館)と職員の交流研修を実施している。
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 昆虫教室・観察会(4月～3月、計8回)193人参加 館内探検ツアー 1,753人参加 クイズラリー 24,488人参加 <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> こん虫夏まつりのイベントチラシを小中学校、公民館等へ配付(2,000部) ホームページの掲載、メールマガジンへの情報の掲載(月1回) 広報誌むしかご通信を小中学校、公民館等へ配布(年4回、延8000部) 無料広報誌への情報提供(県・市広報及び地元情報誌) GW期間に新聞広告の実施 夏休み期間に「こん虫夏まつり」に関する新聞折り込みチラシを配付、テレビCMを放映 団体が主催し白山市観光企画課の共催のイベントに参加(昆虫の生体展示等)

使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数（（２）参照） ・使用料の収入実績（（３）参照）
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃：業者に委託して毎日清掃を行っている。 保守点検：エレベーターは、毎月、火災警報機は、年２回それぞれ専門業者が点検している。 警備：開館時間、職員が巡回、夜間は、機械警備により異常発生時に速やかに対応できる体制を整えている。 小規模修繕：ボイラー・エレベーター・空調設備修繕等の修繕を実施し、施設の保全に努めている。
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・ふれあい昆虫館消防防災計画等による年２回の消防訓練を実施、事故発生時の緊急時対応について職員に周知 ・カブトムシコンクールなどで取得した個人情報、外部に漏れないよう管理されている。

（２）ふれあい昆虫館の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H17年度	H18年度	前年度比	増減理由
利用者数	113,278人	108,515人	95.8%	夏休み期間までは、前年度比で減少したものの、秋・冬期における「毒をもつ虫の展示」や「昆虫食」等の斬新な企画イベントを実施したことで、前年度に近い入館者数となった。

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
ふれあい昆虫館入館料	22,802,856円	1,930,300円	身体障害者手帳等保有者 1,495人 プレミアムパスポート提示者 2,599人 学校等行事による申請者 6,487人

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	121,367,630	人件費	91,173,531
利用料収入	22,802,856	光熱水費	14,246,670
		修繕費	1,518,846
		需用費	12,066,000
		委託料	13,729,946
		その他	10,523,484
		次年度運営準備金	912,009
合計	144,170,486	合計	144,170,486
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)
利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成18年8月	「こん虫夏まつり2006」	利用実態を調査し、今後のイベント等に活用
平成18年8月	昆虫標本展示	利用実態を調査し、今後の展示に活用

事故、故障等

年月	内容	対応
特になし		

その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取り組みが行われているか。	B	・毎月職員会議を開催し、イベント等の情報共有や展示内容の確認などを行うとともに、運営上の問題も検討している。
利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	・昆虫教室・観察会、館内探検ツアー、クイズラリーなど各種イベントを積極的に実施し誘客促進に努めている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・毎日清掃が行われ、館内は清潔に保たれているほか、小修繕などは自ら行うなど、適切に管理が行われている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、消防訓練の実施や緊急時対応の職員訓練が実施されるなど安全対策が適切である。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	・施設の管理、運営にあたる職員の人員配置や担当業務を定めるなど適切に運用されている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・苦情に対しては、迅速に対応している。 ・カプトムシコンクールなどで取得した個人情報、外部に漏れないよう管理されている。
総合評価	B	・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も適正な管理と利用促進に向けた取り組みを期待する。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし